

M.P.「了系」粉碎! 7-11評議会

を粉碎せよ! オ二期教育大闘争の謀の下日女
民衆の「自治擁護運動」とり派連合の「サ」デモカリスムの迷曲と全学斗私物
化をのりこえ「クラスから闘いの激流を作り出せ!

東京教育大学全学学生女闘会議

7-11

M.P.「了系」めがす当局と反対闘
争の現実

審校されたすべての学友諸君! 獄中、二
の間の当分の務敵最終決定運動に決し、
らび、クダヨ等を果敢に闘い抜いてきた学
友諸君!

現在、我々の務敵阻止斗争日決定的な場
面に立たされていると言われぬことはない。
即ち、当局の抑進派というものは、この
面から、もど、クダヨをはひめとする我々の
敵意の矛を振り、着実に解散をこころ
重田、務敵の最終的決着をはからんとし
ているのである。彼らは現在衆議院通過が
されている「大憲立法」をたのみで学生
反対派闘争に積極的な態度をとりつつ、
他方、作られたブルンヘモネル大学闘争
による潮鳴もあつて、今務敵決起を急い
ているのである。そしてまさにこの間の当
分のさういふ強行的推進を強制的に示した
ものとして昨日の、理教委員会に於けるマ
ターラン承認の推進後、急引な決起があ
つたのだ。推進派のおおに牙城であった
手の理教部に於いて、この最終段階に到
つて、マヤの名の教習なら(更に)お前をへし、
反対声部が出されたりするなど、彼ら自身
のうちにも非常に混乱と矛盾を弄みつつ、
この最終決定がなされるうとして、
このことを我々ははっきり見えてくること
である。

事態はこのようである。我々の闘争は、
現在、一方における我々の闘いは一層の混
迷を深めつつあると云ふべきでない。
教育委員会に於いて、当初、左翼的カ
としての「投票ホイコット」方針を提
しつつも、もとよりそれを放棄化する
とらなく、かつ「正統化」の要請するもの
が傾であるを要することなく、今では
「正統化」されても、これなくとも務敵日決
定されるから、正統化を言ふのは大した
足らない。せむら、学生の中に分断を
投票ホイコット方針を正しくないものと
ハレン子機まりたいことを言いつつ、
策動に完全に乗り、一方では「全学集
会」を目標とする。以上を
して一層ふやけたズズズスススス
の統一戦線で、ロック、アウト体制への
衆と大憲立法、務敵決定への危険感を
に学生、教職員をなす。一定の盛りあ
かりをみせている。しかしながらその
は、大憲立法を「自治擁護」の自由
への攻撃として把え、反対するとい
政治民主主義の幻想性と知性を要する
めにはなく、それを得るという自
立場で、
とけつての「巴大前路線」による
初に示してはそれを抑止してゆくとい
た犯罪的行為を反してはいるのである。
そしてそのような大憲立法に反対する立
場を、
び付けて、「全大學生の声を
押しつけて」「
務」と斗争闘争を決定して
のである。このように我々の
痛敵した、しかし自
手き運んできた。この
女及び政治的に闘う
出し、女学生を
派の私物へと
学斗は、民衆の運動に
そのイデオロギ
ことをさ
いマ
それ政治に
いニカ、その
してゆく
ないのだ。それ
的「反私」と
にたさつて、
立ちまわ
自らの
と「左」
めにの
の火
権利ま
は、
よつて
のもの
とれる
政治
それを

現在、我々の務敵阻止斗争日決定的な場
面に立たされていると言われぬことはない。
即ち、当局の抑進派というものは、この
面から、もど、クダヨをはひめとする我々の
敵意の矛を振り、着実に解散をこころ
重田、務敵の最終的決着をはからんとし
ているのである。彼らは現在衆議院通過が
されている「大憲立法」をたのみで学生
反対派闘争に積極的な態度をとりつつ、
他方、作られたブルンヘモネル大学闘争
による潮鳴もあつて、今務敵決起を急い
ているのである。そしてまさにこの間の当
分のさういふ強行的推進を強制的に示した
ものとして昨日の、理教委員会に於けるマ
ターラン承認の推進後、急引な決起があ
つたのだ。推進派のおおに牙城であった
手の理教部に於いて、この最終段階に到
つて、マヤの名の教習なら(更に)お前をへし、
反対声部が出されたりするなど、彼ら自身
のうちにも非常に混乱と矛盾を弄みつつ、
この最終決定がなされるうとして、
このことを我々ははっきり見えてくること
である。

我々に今、押しつけられているのは、ゆくのぞ、その腕より断ち切り、立脚目的を以て、対抗闘争に立ち上る。法粉砕、神聖禁止の斗いに我々と交わっていった学友、そして展望を我々に示唆せしめるべく、期滿を斗争方針、ニセルに陥込んでいる学友が、針を提起し、原則的な組織活動を通じて、民衆系の運動に引き込まれて、展開してゆくことなのだ。

三期教育大闘争の下のMP評議会を承を粉砕せよ！

以上述べた様に我々の斗いの環境は、自派執行部があり、そのような政策階を見ながら、我々教育大斗争は、打ち出す主体をも粉砕してゆく。まさに「大学立法」粉砕の斗いとの統一において、その勝利も展望も振りえない。マボウヤ部会は、

一方に粉砕して、我々の闘いを展開し、他方に粉砕して、いまや我々となつて巨大組織に代わる新なる大学の管理運営制度を確立し、それを基幹に、学生自治活動への増進、規則、憲法に基き、新泉の全体的な発展を自覚させるのあり、その第一歩として、「大学立法」は、とらえられねばならない。

それ故に、教育の神聖主義的再編の東部陣に打ける環として、実現される教育大の拡張運動、これを阻止する斗いは「大学立法」粉砕の斗いと同時的に結合して打つていなければならない。

そして我々の闘いを教育大学において、積極的に担い推進してゆくの必要はない。

7-12 教育大政治集会
早大文 5時より
三期教育大闘争と全学連大会

7/3
7/16

全学連第21回定期全国大会に結集せよ

早大記念会堂

大会参加予約証有(2冊)